

ASEAN・インド・豪州月報 (2021年6月)

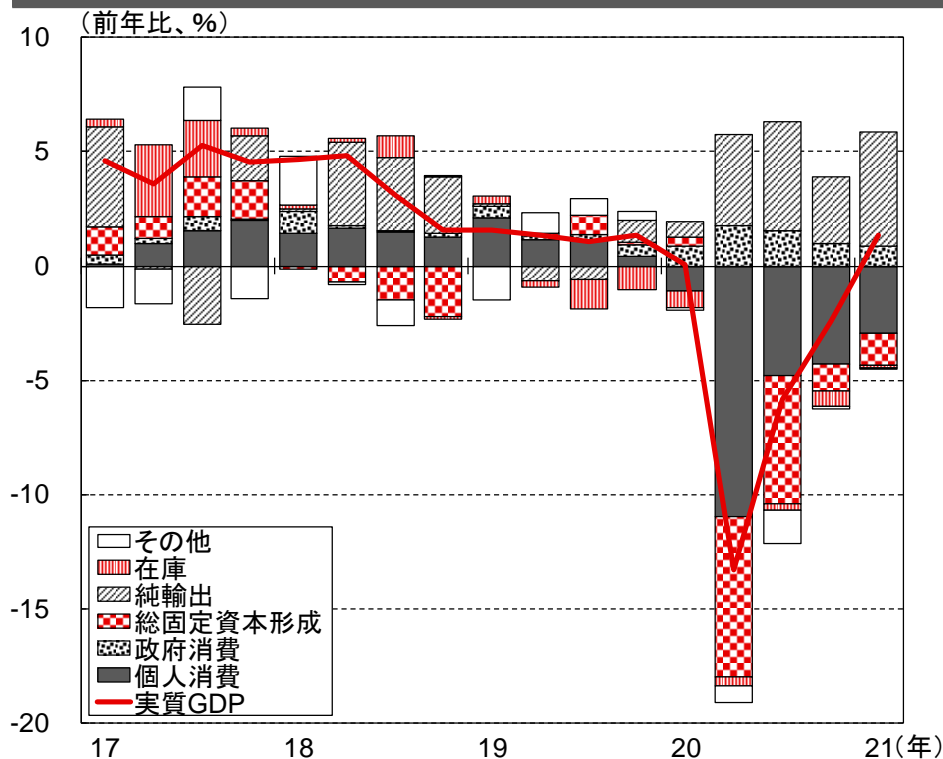
2021年6月2日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

1. シンガポール

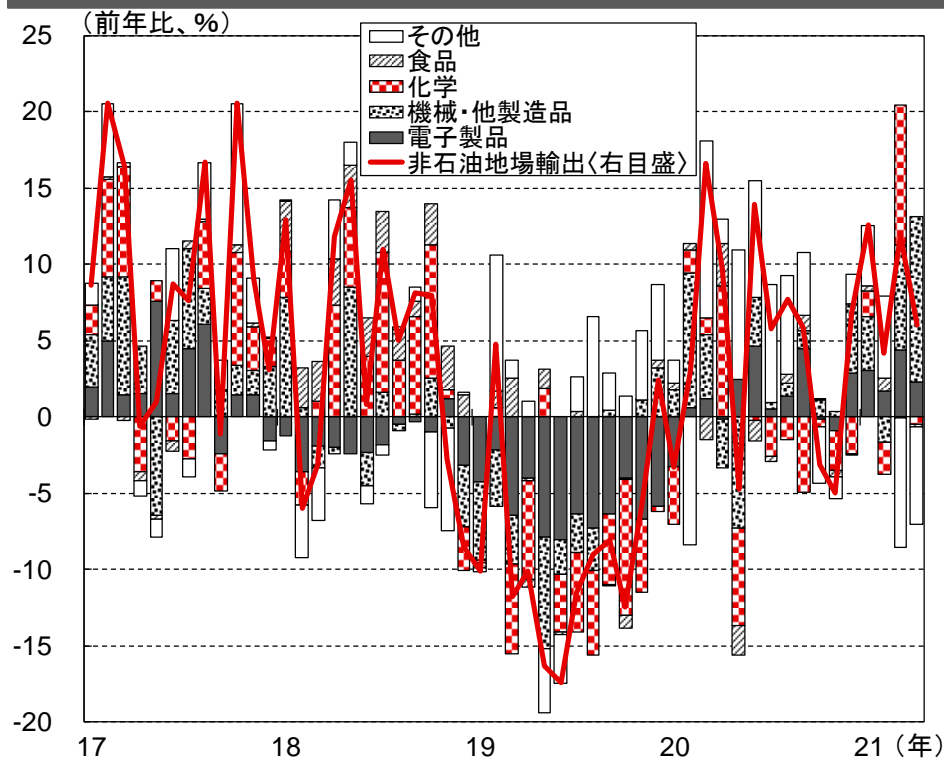
- 1-3月期の実質GDP成長率は前年比+1.3%と、昨年の落ち込みからの反動もあり4四半期ぶりに増加。感染者数が低位に止まるなか、公衆衛生措置が継続したことで、個人消費は前年比▲7.9%と全体を下押ししたものの、マイナス幅は縮小。政府消費は同+6.7%と引き続きプラスを維持。輸出は前年割れが継続するも輸入の減少がそれを上回り、純輸出はプラスに寄与。
- 4月の非石油地場輸出は、前年比+6.0%と5カ月連続でプラス。品目別にみると、昨年の落ち込みの反動もあって『機械・他製造品』が同+39.9%と大幅に増加した他、『電子製品』も同+10.9%と全体を牽引。金額ベースでは、昨年のコロナ禍及び一昨年の米中摩擦激化等による影響が現れる以前の2018年4月の水準まで概ね回復。
- なお、新型コロナウイルスのワクチン接種は、少なくとも1回接種した人の割合が人口の約4割に達しており、ASEANの中では最速のペース。政府は2021年の実質GDP成長率を前年比+4.0~6.0%と予測。

シンガポールの実質GDPの推移



(資料)シンガポール貿易産業省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

シンガポールの非石油地場輸出の推移



(資料)シンガポール国際企業庁統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

1. シンガポール

シンガポールの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/4-6	7-9	10-12	21/1-3	21/2	3	4	5
名目GDP(10億ドル)	376	374	340								
人口(100万人)	5.64	5.70	5.69								
1人あたりGDP(ドル)	66,677	65,656	59,807								
実質GDP成長率(前年比、%)	(3.5)	(1.3)	(▲5.4)	(▲13.3)	(▲5.8)	(▲2.4)	(1.3)				
鉱工業生産指数(前年比、%)	(7.0)	(▲1.5)	(7.5)	(▲0.4)	(11.0)	(11.4)	(10.7)	(16.5)	(7.6)	(2.1)	
小売売上高指数(前年比、%)	(▲0.8)	(▲2.8)	(▲15.3)	(▲40.0)	(▲8.3)	(▲4.3)	(1.2)	(5.3)	(6.2)		
消費者物価指数(前年比、%)	(0.4)	(0.6)	(▲0.2)	(▲0.7)	(▲0.3)	(▲0.1)	(0.8)	(0.7)	(1.3)	(2.1)	
輸出(FOB)(100万Sドル)	555,665	532,514	515,645	117,070	131,134	133,627	143,042	42,620	55,438	50,585	
(前年比、%)	(7.9)	(▲4.2)	(▲3.2)	(▲11.4)	(▲2.2)	(▲2.9)	(6.9)	(▲2.1)	(21.0)	(26.6)	
輸入(CIF)(100万Sドル)	500,194	489,712	453,467	102,458	113,117	116,806	124,360	37,645	47,685	45,173	
(前年比、%)	(10.6)	(▲2.1)	(▲7.4)	(▲16.6)	(▲7.6)	(▲7.6)	(2.7)	(▲4.6)	(17.9)	(25.9)	
貿易収支(100万Sドル)	55,471	42,802	62,177	14,612	18,016	16,821	18,682	4,975	7,753	5,412	
経常収支(100万Sドル)	78,144	72,844	82,489	20,452	22,728	19,623	24,625				
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	287,466	279,240	362,088	312,286	327,822	362,088	381,772	382,420	381,772		
SIBOR3カ月(Sドル、%)◎	1.89	1.77	0.41	0.56	0.41	0.41	0.44	0.44	0.44	0.44	
為替(Sドル/USDドル)*	1.349	1.364	1.379	1.412	1.374	1.347	1.332	1.327	1.342	1.334	1.330
株価指数◎	3,068.8	3,222.8	2,843.8	2,589.9	2,466.6	2,843.8	3,165.3	2,949.0	3,165.3	3,218.3	3,164.3

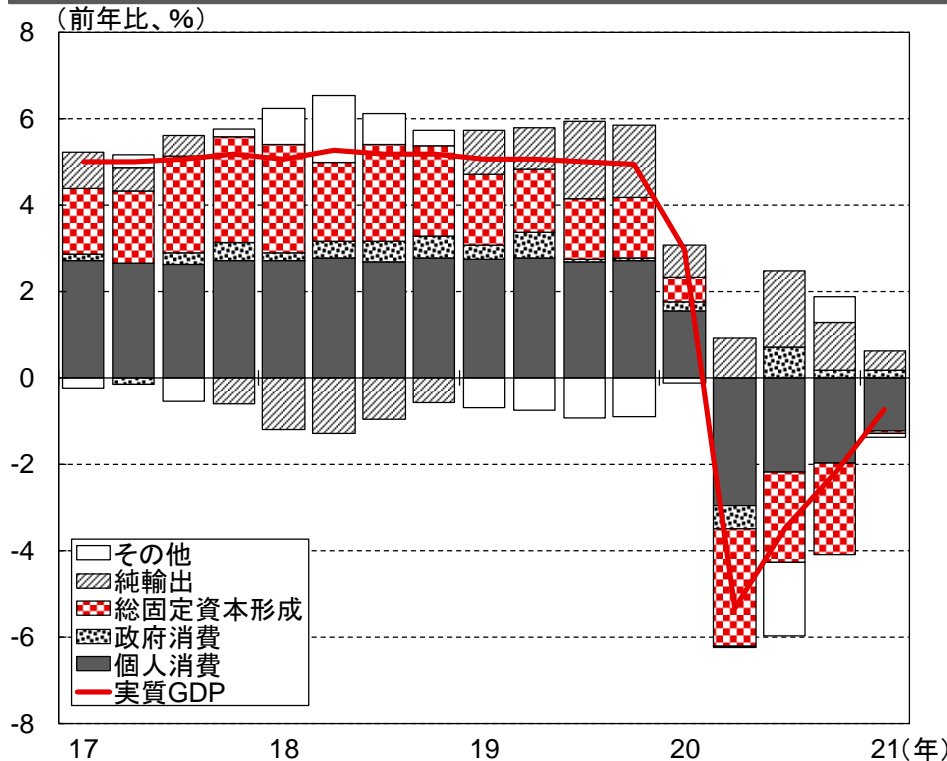
(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)シンガポール統計局、CEIC等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2. インドネシア

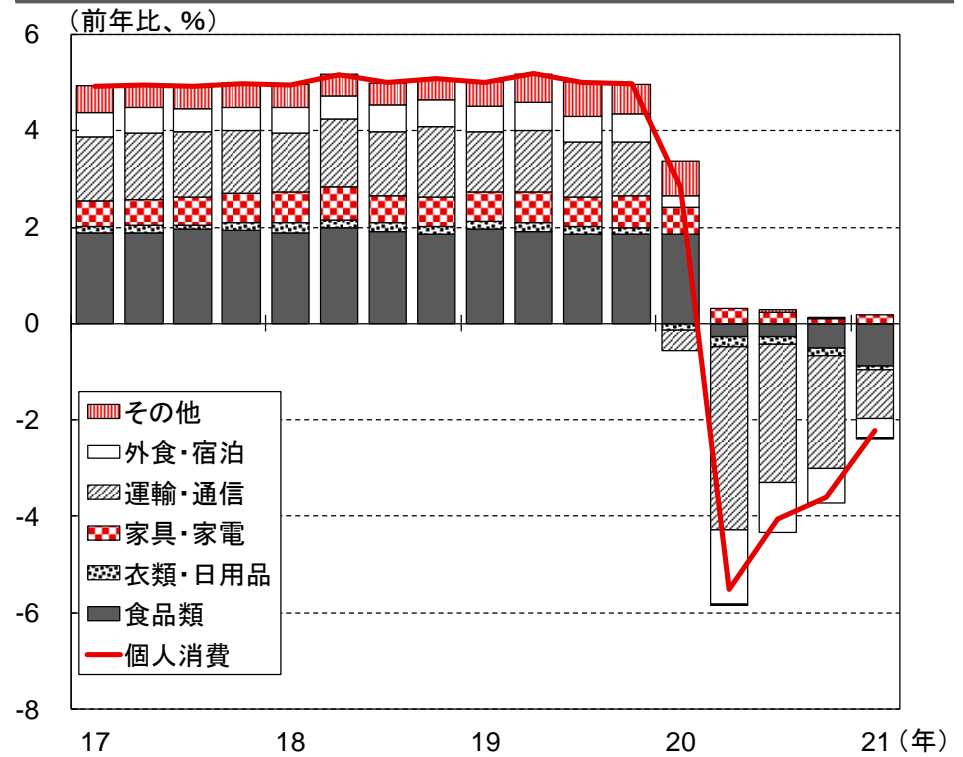
- 1-3月期の実質GDP成長率は、前年比▲0.7%と前期からマイナス幅が縮小したものの引き続き前年割れ。財輸出が同+11.9%と牽引したことで純輸出は前期に続きプラス寄与となったが、年初の新型コロナウイルス感染拡大による悪影響を受け、GDPの約5割を占める個人消費が同▲2.2%と引き続き全体を押し下げ。
- 個人消費を品目別にみると、全体の約4割を占める『食品類』は前年比▲2.3%と前期からマイナス幅が拡大。また、外出制限等の影響が『運輸・通信』のうち『運輸』に影響しているとみられ、同▲4.2%とマイナス幅が縮小したものの引き続き前年割れ。
- なお、日次の新規感染者数については一旦はピークアウトしたものの下げ止まっており、各種行動制限は継続。政府は2021年の実質GDP成長率を前年比+4.5~5.3%と予測。

インドネシアの実質GDPの推移



(資料)インドネシア中央統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

インドネシアの個人消費の推移



(資料)インドネシア中央統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2. インドネシア

インドネシアの主要経済指標

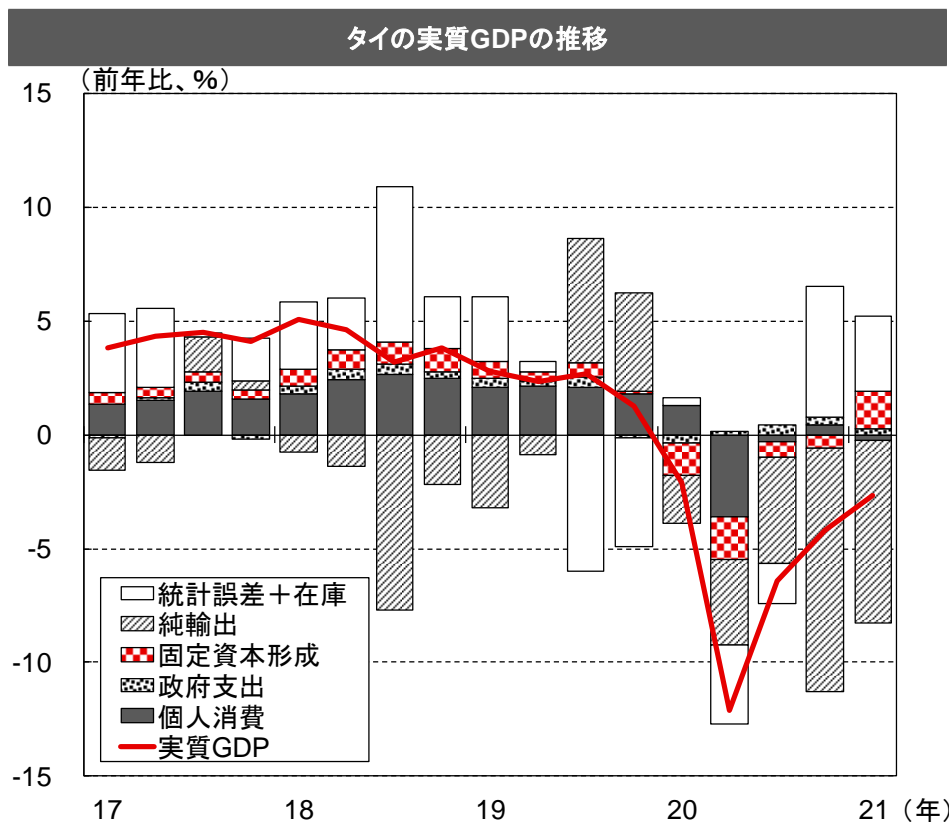
	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/4-6	7-9	10-12	21/1-3	21/2	3	4	5
名目GDP(10億ドル)	1,042	1,119	1,059								
人口(100万人)	264.2	266.9	270.2								
1人あたりGDP(ドル)	3,945	4,193	3,920								
実質GDP成長率(前年比、%)	(5.2)	(5.0)	(▲2.1)	(▲5.3)	(▲3.5)	(▲2.2)	(▲0.7)				
鉱工業生産指数(前年比、%)	(4.5)	(4.0)									
国内自動車販売(台)	1,151,284	1,030,126	532,027	24,042	111,114	159,981	187,026	49,202	84,915	78,908	
(前年比、%)	(6.9)	(▲10.5)	(▲48.4)	(▲89.4)	(▲59.3)	(▲41.8)	(▲21.0)	(▲38.2)	(10.6)	(902.9)	
消費者物価指数*(前年比、%)	(3.2)	(2.8)	(2.0)	(2.3)	(1.4)	(1.6)	(1.4)	(1.4)	(1.4)	(1.4)	
輸出(FOB)(100万ドル)	180,013	167,683	163,306	34,627	40,759	46,160	48,904	15,256	18,354	18,480	
(前年比、%)	(6.6)	(▲6.8)	(▲2.6)	(▲12.5)	(▲6.5)	(6.7)	(17.1)	(8.5)	(30.5)	(51.9)	
輸入(CIF)(100万ドル)	188,711	171,276	141,569	31,734	32,777	37,889	43,382	13,265	16,788	16,286	
(前年比、%)	(20.2)	(▲9.2)	(▲17.3)	(▲23.5)	(▲25.4)	(▲15.1)	(10.8)	(14.9)	(25.7)	(29.9)	
貿易収支(100万ドル)	▲8,699	▲3,593	21,738	2,893	7,982	8,271	5,522	1,991	1,567	2,194	
経常収支(100万ドル)	▲30,633	▲30,279	▲4,341	▲2,889	1,081	892	▲997				
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	117,425	125,339	131,139	127,236	130,367	131,139	132,850	134,293	132,850		
7日物リバースレポレート◎	6.00	5.00	3.75	4.25	4.00	3.75	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50
為替(ルピア/ドル)*	14,250	14,146	14,577	14,997	14,718	14,382	14,184	14,044	14,417	14,557	14,343
株価指数◎	6,194.5	6,299.5	5,979.1	4,905.4	4,870.0	5,979.1	5,985.5	6,241.8	5,985.5	5,995.6	5,947.5

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。

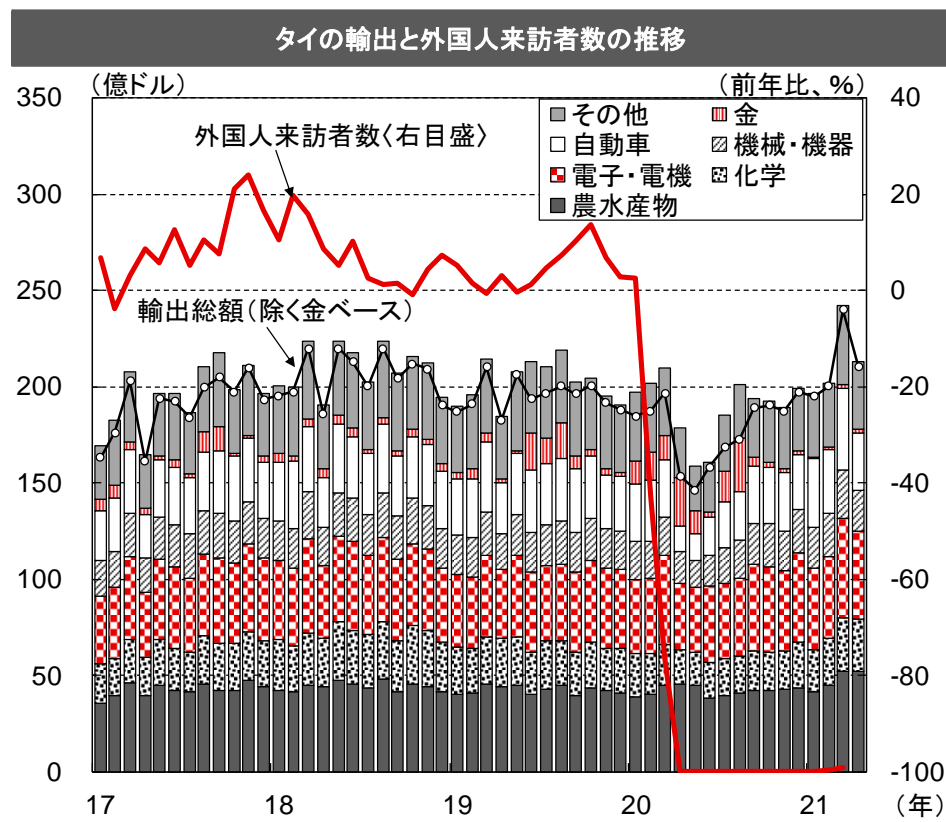
(資料)インドネシア中央銀行、CEIC等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

3. タイ

- 1-3月期の実質GDP成長率は、前年比▲2.6%と前期(同▲4.2%)からマイナス幅が縮小したものの、5四半期連続で前年割れ。昨年末の感染拡大が今年1-2月まで続いたことで個人消費が同▲0.5%と再びマイナスになったことに加え、外国人観光客が略ゼロのままであることが影響しサービスを中心に輸出が同▲10.5%となったことも全体を下押し。
- 4月の財輸出(除く金ベース)は前年比+37.0%となり、水準でみても217億ドルとコロナ禍前の2019年同月を上回った。品別にみると、コロナ禍を受け需要が拡大している『電子・電機』を中心とした回復が継続。プーケットでは7月から外国人観光客に対する隔離措置が免除される予定。
- なお、日次の新規感染者数は、4月に入り過去最高を更新するなど、2月に感染拡大が下火になった後、感染が再拡大している状況。政府は2021年の実質GDP成長率を前年比+1.8~2.8%と予測。



(資料)タイ国家経済社会開発統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成



(資料)タイ中央銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

3. タイ

タイの主要経済指標

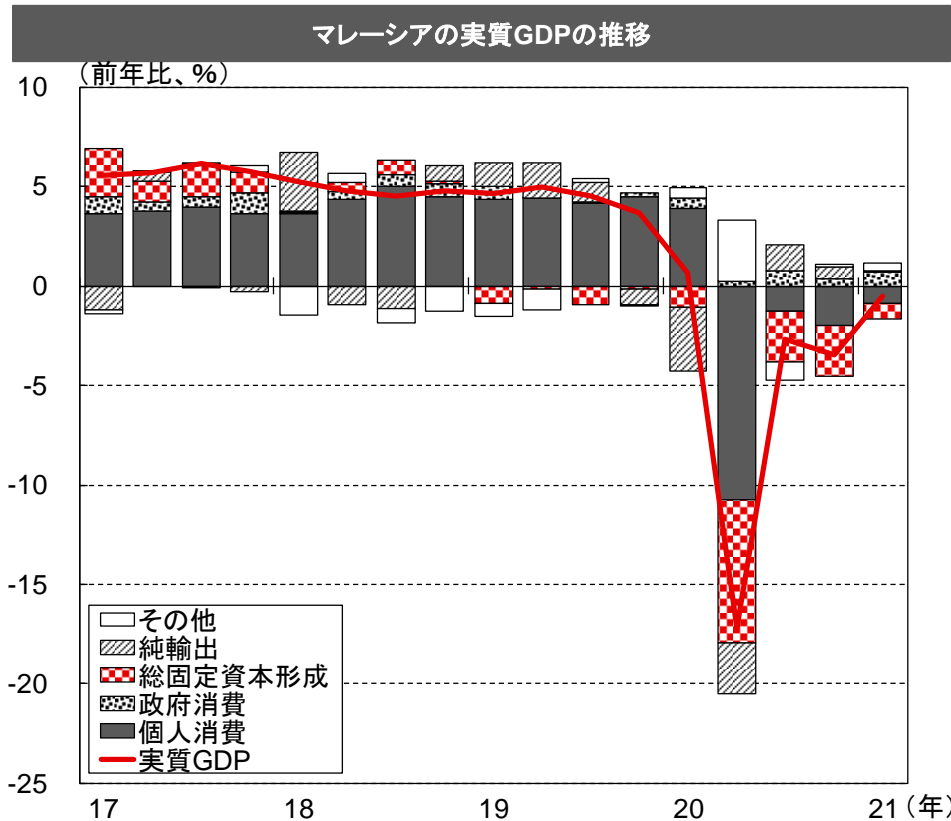
	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/4-6	7-9	10-12	21/1-3	21/2	3	4	5
名目GDP(10億ドル)	507	544	502								
人口(100万人)	66.4	66.6									
1人あたりGDP(ドル)	7,629	8,179									
実質GDP成長率(前年比、%)	(4.2)	(2.3)	(▲6.1)	(▲12.1)	(▲6.4)	(▲4.2)	(▲2.6)				
製造業生産指数(前年比、%)	(3.9)	(▲3.4)	(▲9.3)	(▲20.4)	(▲8.5)	(▲1.6)	(0.8)	(▲1.3)	(5.9)	(18.5)	
民間消費指数(前年比、%)	(4.6)	(2.3)	(▲1.9)	(▲10.4)	(▲0.0)	(1.8)	(▲1.1)	(▲2.5)	(3.7)	(8.7)	
自動車販売台数(台)	1,041,739	1,007,552	792,146	128,576	206,125	257,381	194,137	58,960	79,969	58,132	
(前年比、%)	(19.5)	(▲3.3)	(▲21.4)	(▲50.6)	(▲13.4)	(4.8)	(▲3.0)	(▲13.6)	(33.0)	(93.1)	
消費者物価指数(前年比、%)	(1.1)	(0.7)	(▲0.8)	(▲2.7)	(▲0.7)	(▲0.4)	(▲0.5)	(▲1.2)	(▲0.1)	(3.4)	
失業率(%)*	1.1	1.0	1.6	n.a.	1.9	1.9					
輸出(FOB)(100万ドル)	251,108	242,701	226,716	49,820	57,990	58,095	64,004	20,145	24,245	21,280	
(前年比、%)	(7.5)	(▲3.3)	(▲6.6)	(▲17.7)	(▲8.2)	(▲1.5)	(5.3)	(▲0.2)	(15.8)	(19.1)	
輸入(FOB)(100万ドル)	228,720	215,976	186,896	40,902	44,420	49,864	56,615	18,008	20,887	18,851	
(前年比、%)	(13.7)	(▲5.6)	(▲13.5)	(▲25.0)	(▲19.4)	(▲5.9)	(9.5)	(23.9)	(15.1)	(25.9)	
貿易収支(100万ドル)	22,388	26,725	39,820	8,918	13,570	8,231	7,389	2,137	3,358	2,429	
経常収支(100万ドル)	28,423	38,206	16,298	1,314	6,610	▲1,449	▲2,551	▲1,071	▲806	▲1,298	
資本収支(100万ドル)	▲13,204	▲15,656	▲3,588	9,829	▲4,085	▲914					
対外債務残高(100万ドル)◎	163,103	171,885	190,010	171,702	171,632	190,010					
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	199,296	216,821	248,750	232,771	241,725	248,750	237,090	245,340	237,090	239,144	
翌日物レポ金利(%)◎	1.75	1.25	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
為替(パーツ/ドル)*	32.32	31.04	31.29	31.93	31.34	30.61	30.29	29.99	30.78	31.33	31.30
株価指数◎	1,563.9	1,579.8	1,449.4	1,339.0	1,237.0	1,449.4	1,587.2	1,496.8	1,587.2	1,583.1	1,593.6

(注)*印: 期中平均値、◎印: 期末値、輸出入および貿易収支は国際収支ベース。

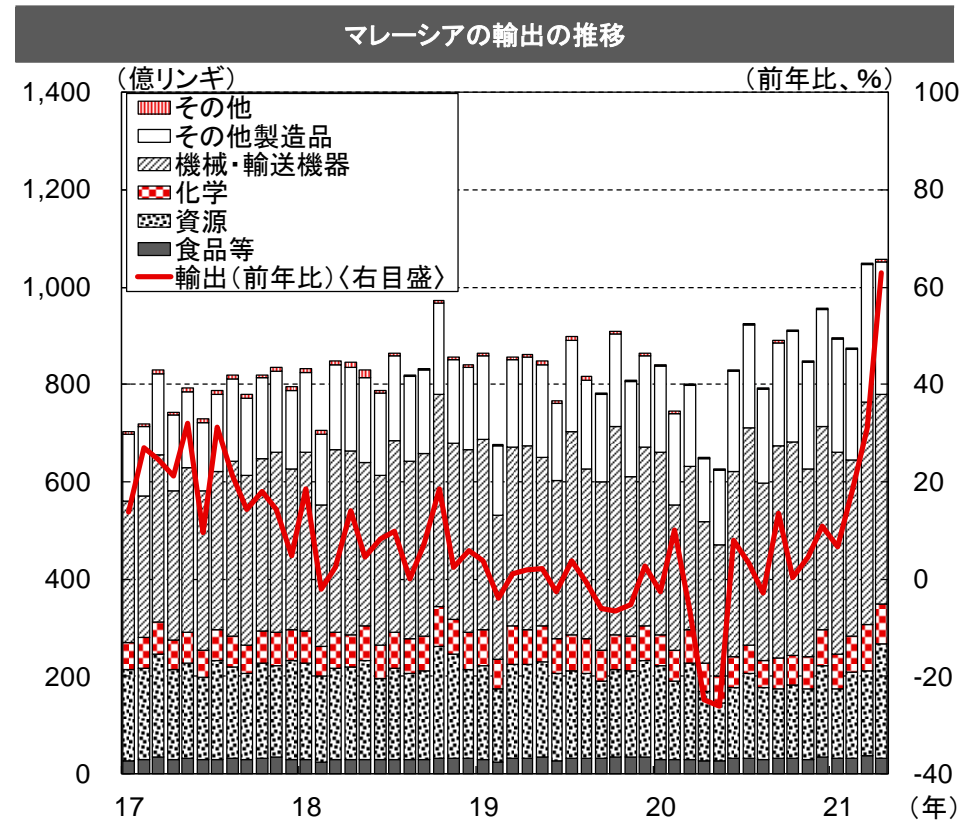
(資料)タイ中央銀行、国家経済社会開発委員会、CEIC等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

4. マレーシア

- 1-3月期の実質GDP成長率は、前年比▲0.5%と前期(同▲3.4%)からマイナス幅が縮小するも引き続き前年割れ。輸出は堅調だったものの輸入も増加した結果、純輸出が小幅なプラス寄与に止まるなか、コロナ禍による個人消費等の内需の下押しが継続。
- 4月の輸出は、前年比+63.0%と前年の落ち込みの反動もあり大幅な伸びを記録。水準でもコロナ禍前の2019年の同月を大きく上回る。品目別にみると、コロナ禍を受けて高い需要が続く『機械・輸送機器』を中心に総じて堅調に推移。
- なお、感染拡大の深刻化に伴い6月1日から全土でのロックダウン実施。政府は2021年の実質GDP成長率を+6.0~7.5%と予測しているが下方修正される見通し。



(資料) マレーシア統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成



(資料) マレーシア統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

4. マレーシア

マレーシアの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/4-6	7-9	10-12	21/1-3	21/2	3	4	5
名目GDP(10億ドル)	359	365	338								
人口(100万人)	32.4	32.5									
1人あたりGDP(ドル)	11,084	11,234									
実質GDP成長率(前年比、%)	(4.8)	(4.4)	(▲5.6)	(▲17.2)	(▲2.7)	(▲3.4)	(▲0.5)				
鉱工業生産指数(前年比、%)	(3.1)	(2.4)	(▲4.4)	(▲18.0)	(0.7)	(▲0.4)	(3.9)	(1.5)	(9.3)		
自動車販売台数(台)	598,598	604,281	528,130	68,274	170,464	184,121	139,491	42,784	63,878	57,912	
(前年比、%)	(3.8)	(0.9)	(▲12.6)	(▲55.5)	(16.2)	(14.2)	(32.5)	(4.1)	(200.7)	(38,000.0)	
消費者物価指数(前年比、%)	(1.0)	(0.7)	(▲1.1)	(▲2.6)	(▲1.4)	(▲1.5)	(0.5)	(0.1)	(1.7)	(4.7)	
輸出(FOB)(100万リンギット)	1,003,587	995,072	980,979	210,256	260,594	271,445	282,139	87,567	104,946	105,620	
(前年比、%)	(7.3)	(▲0.8)	(▲1.4)	(▲15.1)	(4.4)	(5.1)	(18.2)	(17.6)	(31.0)	(63.0)	
輸入(CIF)(100万リンギット)	879,804	849,411	796,194	182,649	200,254	211,573	223,507	69,690	80,794	85,144	
(前年比、%)	(5.2)	(▲3.5)	(▲6.3)	(▲15.1)	(▲6.3)	(▲4.5)	(10.8)	(12.7)	(19.2)	(24.4)	
貿易収支(100万リンギット)	123,783	145,661	184,785	27,607	60,340	59,872	58,632	17,877	24,152	20,476	
経常収支(100万リンギット)	32,295	52,918	60,007	7,695	24,844	18,629	12,294				
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	99,850	101,726	105,280	101,200	102,637	105,280	106,523	106,598	106,523	108,699	
翌日物政策金利(%)◎	3.25	3.00	1.75	2.00	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75
為替(リンギ/ドル)*	4.04	4.14	4.20	4.32	4.20	4.11	4.07	4.05	4.11	4.12	4.13
株価指数◎	1,690.6	1,588.8	1,627.2	1,501.0	1,504.8	1,627.2	1,573.5	1,577.8	1,573.5	1,601.7	1,583.6

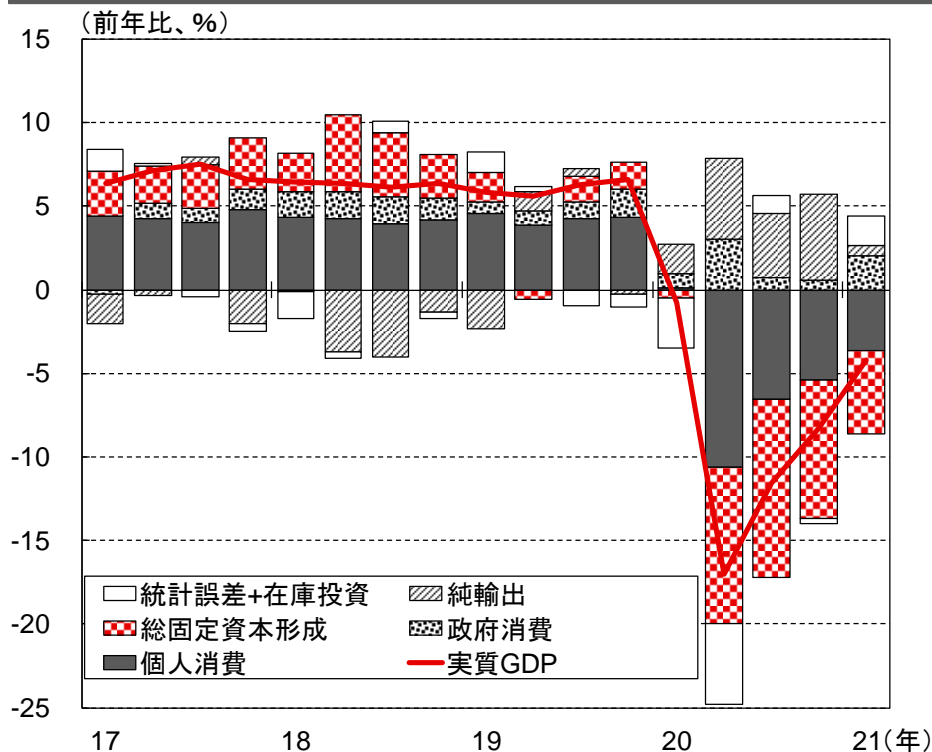
(注)*印: 期中平均値、◎印: 期末値。

(資料) マレーシア中央銀行、CEIC等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

5. フィリピン

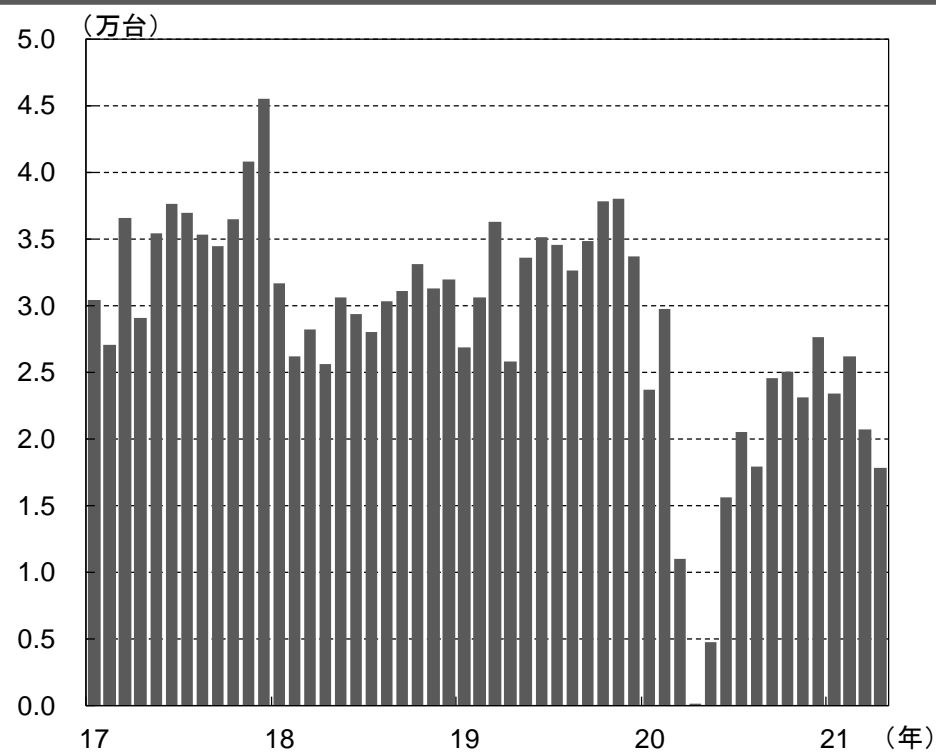
- 1-3月期の実質GDP成長率は前年比▲4.2%と5四半期連続のマイナス。感染抑止のための公衆衛生措置が続いたことで、個人消費が同▲3.4%と4四半期連続のマイナスとなったことに加え、総固定資本形成も引き続き全体を下押し。
- 4月の自動車販売台数は昨年の反動から前年を大幅に上回るも、公衆衛生措置の再厳格化等も影響しコロナ禍前の2019年同月の水準は下回る。
- なお、日次の新規感染者数は下げ止まっており、ワクチン接種も遅れていることから、外出・移動制限措置が6月15日まで延長。政府は2021年の実質GDP成長率を前年比+6.0%~7.0%と予測し従来の見通しから下方修正。

フィリピンの実質GDP成長率の推移



(資料)フィリピン国家統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

フィリピンの自動車販売台数の推移



(資料)フィリピン自動車工業会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

5. フィリピン

フィリピンの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/4-6	7-9	10-12	21/1-3	21/2	3	4	5
名目GDP(10億ドル)	347	377	361								
人口(100万人)	105.8	107.3	108.8								
1人あたりGDP(ドル)	3,280	3,512	3,323								
実質GDP成長率(前年比、%)	(6.3)	(6.1)	(▲9.6)	(▲17.0)	(▲11.6)	(▲8.3)	(▲4.2)				
製造業生産指数(前年比、%)	(7.1)	(▲8.8)	(▲40.8)	(▲72.6)	(▲69.4)	(▲21.7)	(▲42.1)	(▲43.3)	(▲73.4)		
国内自動車販売(台)	357,410	399,911	223,793	20,499	62,971	75,781	70,312	26,230	20,702	17,843	
(前年比、%)	(▲16.0)	(11.9)	(▲44.0)	(▲78.3)	(▲38.3)	(▲30.8)	(8.9)	(▲12.0)	(87.7)	(13315.8)	
消費者物価指数(前年比、%)	(5.2)	(2.5)	(2.6)	(2.3)	(2.5)	(3.1)	(4.5)	(4.7)	(4.5)	(4.5)	
輸出(FOB)(100万ドル)	69,307	70,927	65,215	13,393	17,484	18,024	17,644	5,350	6,772		
(前年比、%)	(0.9)	(2.3)	(▲8.1)	(▲25.6)	(▲6.2)	(1.7)	(8.2)	(▲1.5)	(33.3)		
輸入(CIF)(100万ドル)	112,841	111,593	89,812	16,318	24,065	24,666	25,984	8,062	9,524		
(前年比、%)	(17.4)	(▲1.1)	(▲19.5)	(▲41.9)	(▲16.1)	(▲11.6)	(4.9)	(8.9)	(22.0)		
貿易収支(100万ドル)	▲ 43,533	▲ 40,666	▲ 24,597	▲ 2,925	▲ 6,581	▲ 6,642	▲ 8,340	▲ 2,711	▲ 2,752		
経常収支(100万ドル)	▲ 8,877	▲ 3,047	12,979	4,415	4,166	4,173					
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	71,040	79,824	98,512	85,454	88,849	98,512	95,370	95,991	95,370	98,395	
TBレート金利◎	5.36	3.19	1.01	1.98	1.15	1.01	1.21	0.87	1.21	1.34	1.27
為替(ペソ/ドル)*	52.66	51.80	49.62	50.46	48.94	48.27	48.28	48.20	48.57	48.46	47.96
株価指数◎	7,466.0	7,815.3	7,139.7	6,207.7	5,864.2	7,139.7	6,443.1	6,794.9	6,443.1	6,370.9	6,628.5

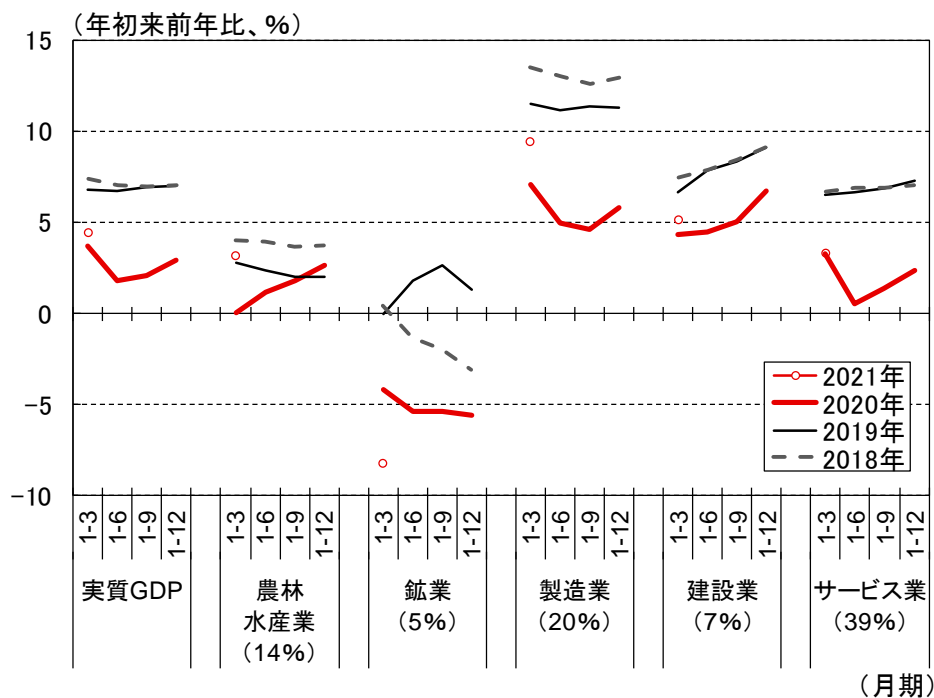
(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)フィリピン国家統計局、中央銀行、IMF、CEIC等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

6. ベトナム

- 1-3月期の実質GDP成長率は前年比+4.5%と昨年1-3月期(同+3.7%)を上回る伸び。『鉱業』がマイナス幅を拡大したものの、その他の産業は加速。コロナ禍を受けて世界的にパソコンや携帯電話関連部品の需要は依然高く、製造業の伸びが拡大。
- 5月の鉱工業生産は前年比+11.6%と前月(同+24.1%)から伸びが鈍化。内訳をみると、『鉱業』はマイナス転化し、『製造業』、『電力・ガス』は伸びが鈍化。
- なお、4月下旬以降、これまで比較的抑え込んでいた新型コロナウイルスの感染が急拡大。ワクチン接種は少なくとも1回接種した人の割合が人口の1%強とASEANの中でも低位。

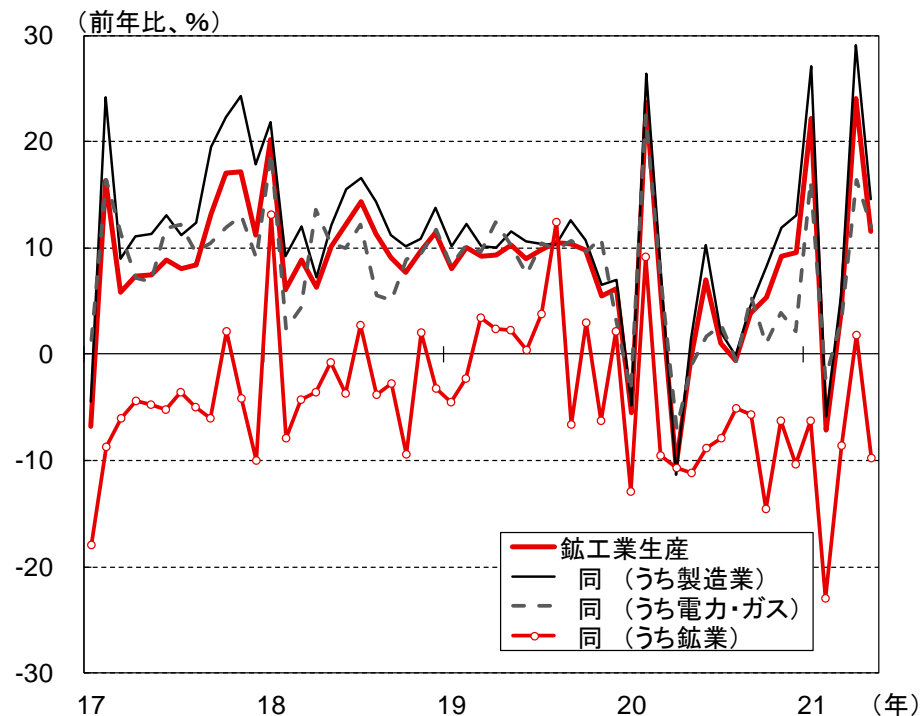
ベトナムの産業別実質GDP成長率の推移



(注) 年初来累計値。産業名下の()内はGDPに占めるシェア(2020年)。

(資料) ベトナム統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

ベトナムの鉱工業生産の推移



(注) 2018年から基準変更。

(資料) ベトナム統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

6. ベトナム

ベトナムの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/4-6	7-9	10-12	21/1-3	21/2	3	4	5
名目GDP(10億ドル)	245	262	271								
人口(100万人)	95.4	96.5	97.6								
1人あたりGDP(ドル)	2,571	2,715	2,778								
実質GDP成長率(前年比、%)	(7.1)	(7.0)	(2.9)	(0.4)	(2.7)	(4.5)	(4.5)				
鉱工業生産(前年比、%)	(10.2)	(9.1)	(3.4)	(▲4.9)	(4.0)	(7.5)	(7.1)	(▲7.2)	(3.9)	(24.1)	(11.6)
国内自動車販売(台)	276,234	305,786	284,150	52,711	69,817	111,445	66,191	12,939	29,036	26,409	
(前年比、%)	(10.2)	(10.7)	(▲7.1)	(▲27.2)	(▲4.7)	(28.3)	(31.9)	(▲22.5)	(58.9)	(144.2)	
消費者物価指数(前年比、%)	(3.5)	(2.8)	(3.2)	(2.8)	(3.2)	(1.4)	(0.3)	(0.7)	(1.2)	(2.7)	(2.9)
輸出(FOB)(100万ドル)	243,697	264,267	281,493	59,367	79,776	80,088	78,395	20,196	29,654	26,550	26,000
(前年比、%)	(13.3)	(8.4)	(6.5)	(▲6.9)	(10.7)	(15.0)	(23.7)	(▲3.8)	(23.5)	(50.8)	(35.6)
輸入(CIF)(100万ドル)	236,869	253,393	262,573	57,314	68,980	76,810	75,572	20,656	28,457	27,775	28,000
(前年比、%)	(11.2)	(7.0)	(3.6)	(▲9.7)	(3.7)	(16.3)	(26.8)	(9.9)	(29.0)	(47.7)	(56.4)
貿易収支(100万ドル)	6,828	10,874	18,920	2,052	10,796	3,278	2,823	▲460	1,197	▲1,225	▲2,000
経常収支(100万ドル)	5,899	13,101									
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	55,453	78,335	94,834	83,747	88,740	94,834		98,106			
リファイナンスレート◎	6.25	6.00	4.00	4.50	4.50	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
為替(ドン/ドル)*	23,032	23,231	23,223	23,333	23,173	23,153	23,047	23,016	23,054	23,066	23,050
株価指数 ◎	892.54	960.99	1,103.87	825.11	905.21	1,103.87	1,191.44	1,168.47	1,191.44	1,239.39	1,328.05

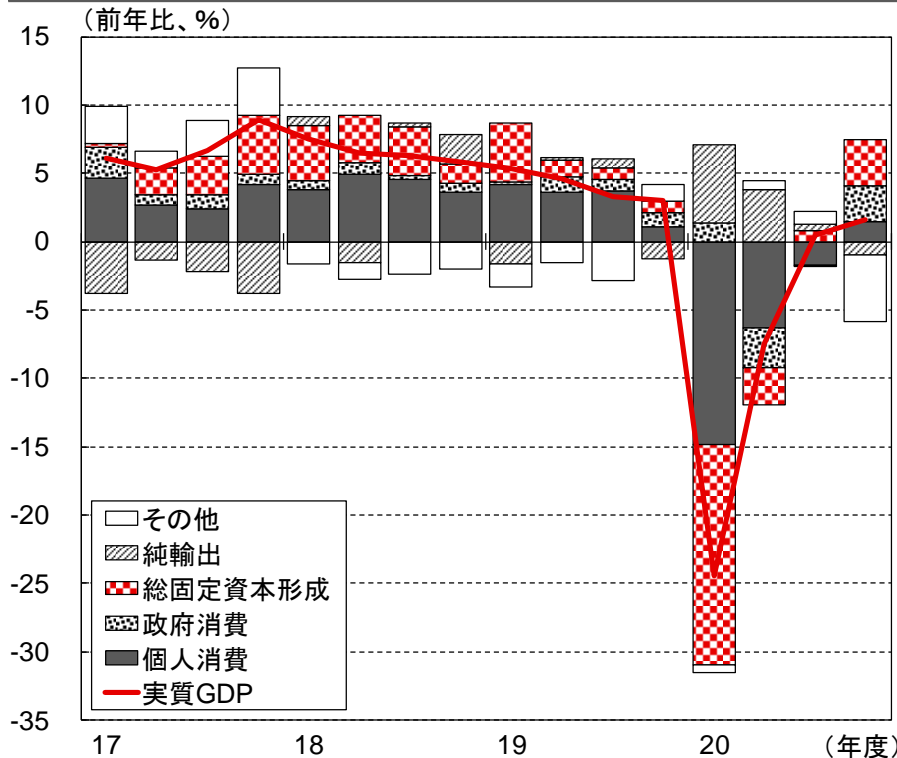
(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)ベトナム統計総局、中央銀行、IMF、CEIC等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

7. インド

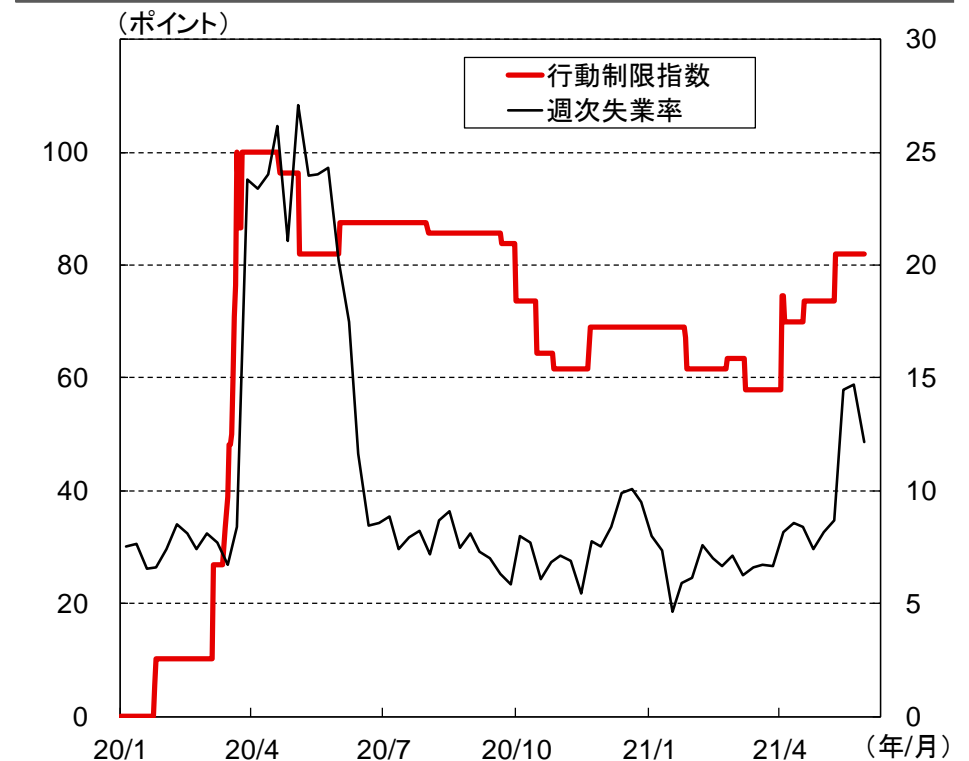
- 1-3月期の実質GDP成長率は前年比+1.6%と2四半期連続のプラス。期中は感染拡大が抑えられていたことに加え政府の財政支援もあり、個人消費が同+2.7%、政府消費が同+28.3%、総固定資本形成が同+13.9%と内需が牽引。なお、2020年度(2020年4月~2021年3月)の実質GDP成長率は同▲7.3%と現行統計史上初のマイナス成長を記録。
- 4月以降の感染急拡大により厳格な行動制限が広範囲で敷かれており、その影響が暫く経済を下押しする可能性が高い。民間調査会社の週次調査によると、失業率は5月中旬に都市部を中心に急上昇。
- なお、感染急拡大による出遅れがあるものの、ワクチンは着実に普及しており、アジア地域では中国、シンガポールに続く。前年の反動も踏まえてインド準備銀行では、2021年度の実質GDP成長率を前年比+10.5%と予測。

インドの実質GDPの推移



(資料)インド中央統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

インドの行動制限と失業率の推移



(資料)オックスフォード大学、CMIE統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

7. インド

インドの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	18年度	19年度	20年度	20/4-6	7-9	10-12	21/1-3	21/2	3	4	5
名目GDP(10億ドル)	2,701	2,870	2,666								
人口(100万人)	1,327	1,341	1,355								
1人あたりGDP(ドル)	2,036	2,140	1,968								
実質GDP成長率(前年比、%)	(6.5)	(4.0)	(▲7.3)	(▲24.4)	(▲7.4)	(0.5)	(1.6)				
鉱工業生産指数(前年比、%)	(3.8)	(▲0.8)	(▲8.7)	(▲35.6)	(▲5.7)	(1.7)	(5.2)	(▲3.4)	(22.4)		
乗用車販売台数(台)	3,377,450	2,648,668	2,486,948	139,163	670,722	828,190	848,873	281,380	290,939	261,633	
(前年比、%)	(2.7)	(▲ 21.6)	(▲ 6.1)	(▲79.7)	(12.8)	(10.8)	(36.3)	(17.9)	(115.2)		
卸売物価指数(前年比、%)	(4.3)	(1.7)	(1.3)	(▲2.3)	(0.5)	(1.9)	(4.9)	(4.8)	(7.4)	(10.5)	
消費者物価指数(前年比、%)	(3.4)	(4.8)	(6.2)	(6.6)	(6.9)	(6.4)	(4.9)	(5.0)	(5.5)	(4.3)	
輸出(100万ドル)	330,079	313,288	290,822	51,525	74,109	75,664	89,524	27,518	34,448	30,630	
(前年比、%)	(8.8)	(▲ 5.1)	(▲7.2)	(▲36.3)	(▲5.3)	(▲4.3)	(19.2)	(▲0.8)	(60.3)	(195.7)	
輸入(100万ドル)	514,050	474,709	390,961	61,294	88,258	110,533	130,877	40,544	48,383	45,720	
(前年比、%)	(10.6)	(▲ 7.7)	(▲ 17.6)	(▲52.9)	(▲25.2)	(▲4.8)	(18.4)	(7.0)	(53.7)	(167.1)	
貿易収支(100万ドル)	▲ 183,971	▲ 161,422	▲ 100,139	▲ 9,768	▲ 14,149	▲ 34,869	▲ 41,353	▲ 13,026	▲ 13,935	▲ 15,100	
経常収支(100万ドル)	▲ 57,180	▲ 24,550		19,022	15,124	▲ 1,724					
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	390,268	447,527	543,284	472,094	508,527	549,087	543,284	549,399	543,284		
レポレート(%)◎	6.25	4.40	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
為替(ルピー/ドル)*	69.89	70.88	74.20	75.86	74.39	73.74	72.89	72.76	72.79	74.47	
株価指数◎	38,673	29,468	49,509	34,916	38,068	47,751	49,509	49,100	49,509	48,782	51,937

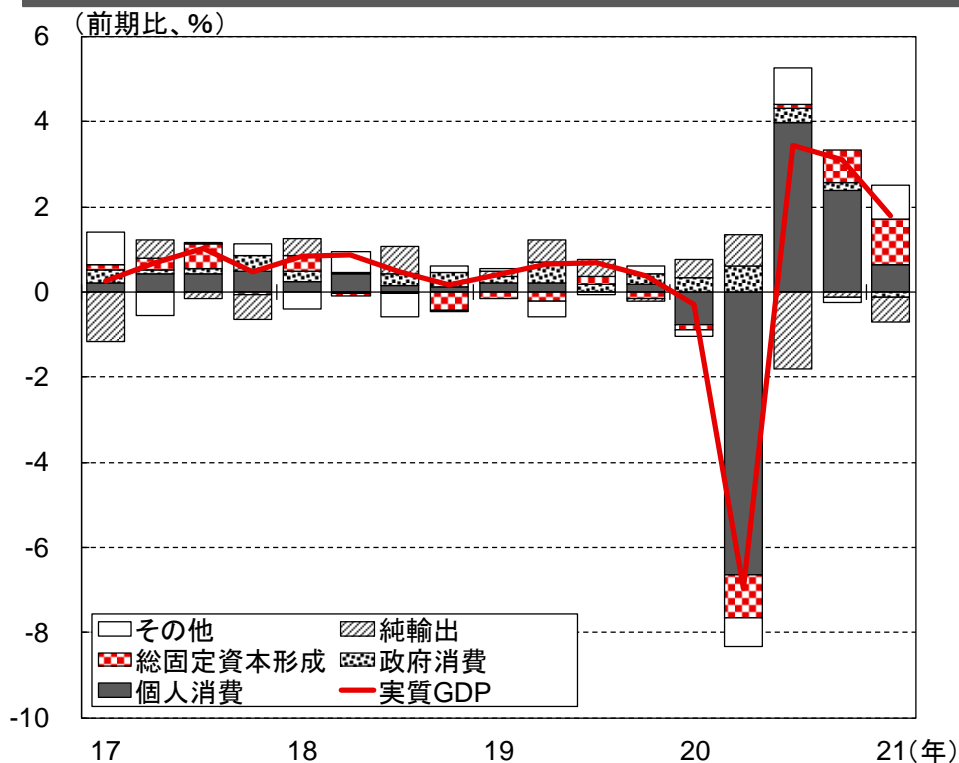
(注)*印: 期中平均値、◎印: 期末値。

(資料) インド準備銀行、中央統計局、CEIC等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

8. 豪州

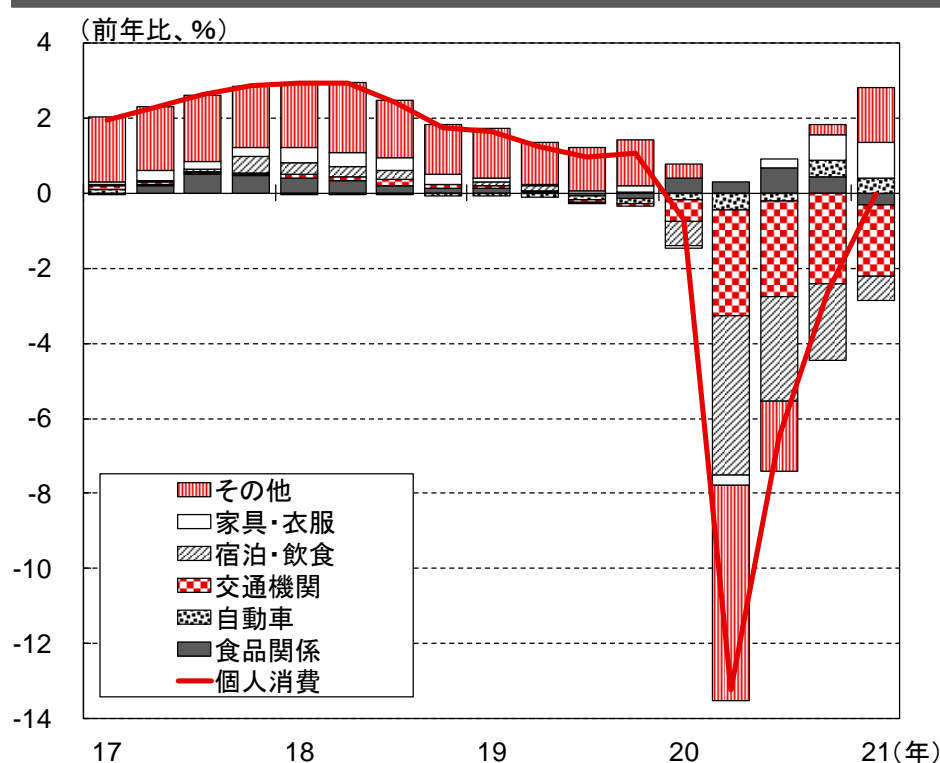
- 1-3月期の実質GDP成長率は前期比+1.8%と三四半期連続のプラス。感染拡大が抑えられてきたことで、個人消費が同+1.2%、総固定資本形成が同+4.7%と内需の持ち直しが牽引。
- 個人消費は前年比▲0.0%とマイナス幅が縮小するも依然前年割れ。品目別にみると、『自動車』や『家具・衣服』等が増加しているのに対し、『交通機関』では前年比▲71.6%と依然大幅なマイナス。
- なお、足元個人消費の持ち直しが続いているが、今後はワクチン接種の進展により一層増勢が明確化する見込み。政府は2021年度(2021年7月~2021年6月)の実質GDP成長率を前年比+4.25%と予測。

豪州の実質GDPの推移



(資料)豪州統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

豪州の個人消費の推移



(資料)豪州統計局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

8. 豪州

豪州の主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/4-6	7-9	10-12	21/1-3	21/2	3	4	5
実質GDP成長率(前年比、%)○	2.9	1.9	▲ 2.5	▲ 6.2	▲ 3.7	▲ 1.0	1.1				
小売売上高(億豪ドル)○	3,208	3,296	3,514	835	894	916	915	303	307	310	
(前年比、%)	(3.0)	(2.7)	(6.6)	(1.7)	(8.2)	(10.0)	(7.2)	(9.1)	(2.2)	(25.1)	
自動車販売台数(万台)○	115.3	106.3	91.7	20.9	20.2	27.2	26.4	8.4	10.0	9.2	
(前年比、%)	(▲3.0)	(▲7.8)	(▲13.7)	(▲26.9)	(▲21.2)	(8.2)	(13.0)	(5.1)	(22.4)	(137.2)	
住宅建設許可件数(万件)○	21.1	17.6	18.6	4.1	4.4	5.5	6.0	2.0	2.4	2.1	
(前年比、%)	(▲5.9)	(▲16.8)	(5.6)	(▲5.5)	(7.7)	(20.7)	(32.1)	(22.3)	(50.0)	(39.2)	
失業率○	5.3	5.2	6.5	6.9	7.0	6.8	6.0	5.9	5.7	5.5	
賃金指数(除く賞与、前年比、%)○	(2.2)	(2.3)	(1.7)	(1.7)	(1.4)	(1.4)	(1.5)				
消費者物価指数(前年比、%)	(1.9)	(1.6)	(0.8)	(▲0.3)	(0.7)	(0.9)	(1.1)				
輸出(億豪ドル)○	4,384	4,928	4,361	1,072	1,018	1,107	1,167	390	383		
(前年比、%)	(13.3)	(12.4)	(▲11.5)	(▲13.1)	(▲21.1)	(▲9.9)	(▲0.7)	(3.2)	(▲4.4)		
輸入(億豪ドル)○	4,160	4,252	3,608	848	866	910	940	314	327		
(前年比、%)	(10.1)	(2.2)	(▲15.2)	(▲20.3)	(▲20.2)	(▲13.7)	(▲5.2)	(▲3.8)	(8.6)		
貿易収支(億豪ドル)○	225	675	753	224	152	197	227	76	56		
経常収支(億豪ドル)○	▲ 402	115	501	165	106	160	183				
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	51,048	56,364	39,620	39,028	39,647	39,620	44,594	40,686	44,594	43,987	
政策金利(%)◎	1.50	0.75	0.10	0.25	0.25	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
3ヵ月物金利(%)◎	2.09	0.93	0.01	0.10	0.08	0.01	0.04	0.03	0.04	0.04	0.03
10年物国債利回り(%)◎	2.32	1.37	0.97	0.87	0.84	0.97	1.74	1.87	1.74	1.65	1.61
為替(USD/AUD)*	0.748	0.695	0.691	0.657	0.715	0.730	0.773	0.775	0.771	0.770	0.776
株価指数◎	5,646	6,684	6,587	5,898	5,816	6,587	6,791	6,673	6,791	7,026	7,162

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値、○印:季節調整値

(資料) 豪州統計局、連邦準備銀行、連邦自動車産業会議所統計、Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当部はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒100-8388 東京都千代田区丸の内2-7-1

照会先：野瀬 陽平 e-mail: youhei_nose@mufg.jp
鷹巢 里奈 e-mail: rina_takasu@mufg.jp